

財団ニュース

1992年度第2号（通巻第33号）

弔 辞	1
1992年度援助一覧表	4
事 務 報 告	9
山田コンファレンスニュース	10
長期間派遣援助による在外研究者一覧表	10
Yamada Conference (1992 and forthcoming)	14
人 事 消 息	14



YAMADA SCIENCE FOUNDATION NEWS

財団法人

山田科学振興財団



追悼 赤堀四郎先生

理事長 神谷宣郎

赤堀四郎先生は1992年（平成4年）11月3日、文化の日に静かに天寿を全うされた。享年92才であった。

故山田輝郎翁の私財によって山田科学振興財団が1977年に設立された際、先生はその設立発起人として、続いて財団の初代理事長として本財団の活動に指針を与えその発展に尽力された。

生い立ちと業績： 先生は1900年（明治33年）10月20日のお生れで出生地は静岡県小笠郡（現在の大東町）千浜村である。遠州灘にほど近く、幼少時には日夜潮騒の音を耳にして育ったと聞いている。13才のとき志を立てて上京し、最初大蔵省で、続いて専売局の化学分析室で給仕をしながら夜学に通った。そして血の出るような刻苦勉励の末、千葉医学専門学校薬学科（現千葉大学薬学部）を経て東北大学理学部化学科に入学された。ここに至るまで幾多の曲折や幸運な出会いがあったが、東北大学での真島利行教授との出会いはその後の先生の生涯に決定的な影響を与えた。先生の学者としての才能がここで芽生え、これが契機となって1932年から3年間欧米に留学、続いて新設の大阪大学に赴任した。短

期間の講師、助教授時代を経て教授（1939）、理学部長（1947、1953）、蛋白質研究所長（1958）、総長（1960）への道を進まれた。

先生の蛋白質に関する化学的研究は大阪大学で開花し、極めて多岐にわたる。とくにヒドラジンによる蛋白質のC末端アミノ酸の決定法の開発や、タカアミラーゼの結晶化およびその化学構造の決定は先生の名を不朽のものとした。蛋白質化学の立場から生命の起源についても鋭い興味を持たれた。先生の広汎な研究業績をここに述べることは専門外の私の力の及ぶところではないが、これらの業績は日本の蛋白質研究の水準を国際的レベルに引上げる大きな力となった。先生は「蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究」で1955年学士院賞を受賞、1964年には学士院会員に選定されている。

先生は卓抜な研究者であっただけでなく偉大な教育者でもあった。このことは赤堀門下から多数の俊英が輩出したことを見ても明らかである。先生にはさらに、時代に先がけて学問の動向を見抜く目と、そのために何をなすべきかという行政的配慮と実行力があった。

1949年理学部長時代に先生は将来の生物学の重要性を予見して阪大理学部に生物学科を創設し、1958年には蛋白質研究所の設立という偉業を達成された。前総長正田建次郎先生を中心として立案され準備された基礎工学部の新設も赤堀総長の時代に実現した。先生はまた阪大の吹田キャンパスへの移転にも一方ならぬ尽力をされた。

赤堀先生の学術的・社会的貢献は阪大内のみならず広く学外にも及んだ。東大応用微生物学研究所兼任教授（1953）、日本学術会議会員（1957）、文部省学術顧問（1960）、日本学士院会員（1964）、大阪大学総長を退任後は理化学研究所理事長（1966）、蛋白質研究奨励会理事長（1967）、大阪府教育委員会委員長（1968）、関西地区大学セミナーハウスの創設と理事長（1971）、そして既述のように本財団の設立発起人および初代理事長などである。先生は蛋白質に関する研究と広汎な学術・教育への功績によって1965年に文化勲章、1975年に勲一等瑞宝章を受賞された。また国外では西ドイツおよび旧ソビエト連邦の科学アカデミー会員、アメリカ生化学会の名誉会員に推され、チェコスロバキアからも学術交流の功績によって勲章を授与されている。

赤堀先生との出会いと先生の間像： 次に私事になるが、先生との出会いと私の見た先生の人間像について少しばかり触れてみたい。私が赤堀先生にはじめてお目にかかったのは1949年2月で東大の田宮 博先生の部屋であった。そのとき赤堀先生は阪大の理学部長で、新設予定の阪大理学部生物学科の構想や抱負を語られ、私に講座担当の意思があるかどうかを打診された。先生は物腰軟らかく、初対面の者にも親近感を与えた。しかし同時に内に毅然とした信念を宿した方だと思えた。私のこの第一印象はその後も変わっていない。

阪大理学部の生物学教室は同年5月31日に設置され、初年度は奥貫一男教授と私が担当する2講座で発足したが、まだ戦後の窮乏と混乱が続いていたときである。生物学科が新

設されても建物ができるわけではない。先生は赤堀研究室の実験室を幾部屋か割愛して、とりあえず私共の研究室にあてて下さった。そればかりではない。私共の着任後数年間は先生が自ら生物学教室の主任を引受けてくださった。これは新任の教授をできるだけ雑用から守り研究に専念させようとした先生の配慮からであった。

当時は戦災で焼け出された人が住む家もない有様で、今では想像も及ばない住宅難の時代であった。奥貫教授と私はしばらく理学部の真島名誉教授室や職員組合の部屋などに寝泊りしていたが、これもやがて赤堀先生のお骨折りで解決した。奥貫教授は宝塚に、私は芦屋に住居を見出すことができた。私の家は先生のお宅から歩いて10分ほどの所だった。

1951年7月末の暑い日、東京を朝家族と共に発ち、芦屋に着いたときはもう日がとっぷりと暮れていた。まだ新幹線のなかった時代である。そのとき先生の奥様がお手製の食べ物や冷たい飲み物をわざわざ届けて下さったのには驚きかつ恐縮した。きびしい食糧難の時代、疲れ果てた病弱の幼児二人をかかえて見知らぬ土地へ着き、心細い思いをしていたときにこの御配慮の有難さは今も身に沁みている。

赤堀先生は大きな仕事をされる一方で、こんな些細なことにも気を配られる方であった。それは先生の生来のお人柄でもあろうが、また若き日に苦労された人生経験によっておのずから身についた思いやりの心であったかも知れない。

赤堀先生の生涯は将来を見透す慧眼、実行力、責任感、そして暖かい人間性で貫かれていた。先生は学者・教育者として立派であったばかりでなく、事業家としても非凡な才能の持主であった。人生は途半ばで終わることが多い。先生は蛍雪の功を積んで大成し、後に残る者に多くの恩恵を与えて人生を完結された。

先生はお二人のご子息と死別され、また常に心の支えとして来られた和子夫人にも先立たれて、家庭的にはお寂しい面が多かったであろう。しかし夫人のご存命中に揃ってキリスト教の洗礼を受け、ご息女原 素子夫人の手厚い介護のもとに安らかな晩年を送られたことは大きな救いであったとお察しする。

先生が本財団の設立や運営に力を入れて下さったことは、私共財団関係者にとってこの上もない仕合わせであった。ここに、御生前に賜った御指導、御厚誼に対して深い感謝を捧げると共に心から御冥福をお祈り申し上げる次第である。

+++++ 1992年度 援助一覧表 +++++

研究援助（1992年度 17件）

推薦学会	代表研究者 氏名・所属	研究 主 題	援助金額 (万円)
日本物理学会	東京工業大学 嶋 達 志	蛍光感应型ドリフトチェンバーの開発と $^{14}\text{N}(\text{n}, \text{p})^{14}\text{C}$ 反応測定への応用	380
日本物理学会	東京大学 坪 野 公 夫	銀河系内モニターのための重力波検出器 の開発	500
応用物理学会	広島大学 森 田 清 三	走査型原子間力／トンネル顕微鏡による 多孔質シリコン表面の細孔と量子細線の 高分解位置測定	300
高分子学会	東京農工大学 朝 倉 哲 郎	高配向高分子材料の原子レベルでの固体 核磁気共鳴構造解析	300
日本化学会	東京工業大学 中 村 栄 一	開殻電子構造を持つ有機分子の反応と生 理機能の設計	400
日本化学会	東北大学 平 間 正 博	海産猛毒シガトキシンの合成化学的研究	300
日本薬学会	千葉大学 五十嵐 一 衛	ポリアミンの輸送機構と生理作用に関す る研究	300
日本細胞生物学会	基礎生物学研究所 石 浦 正 寛	ルシフェラーゼを利用した生物時計の分 子遺伝学的研究系の構築	250
日本動物学会	基礎生物学研究所 小 川 和 男	ダイニンモーター蛋白質スーパーファミ リーの構造と機能	280
日本発生生物学会	千葉大学 大日方 昂	筋形成における蛋白質集合の調節	350
日本植物生理学会	大阪市立大学 保 尊 隆 享	オーキシシンによるキシログルカン分解調 節機構	350
日本動物学会	広島大学 吉 里 勝 利	両生類における幼生から成体への体制構 造変換の分子機構に関する研究	250

合 計 12件 3,960万円

	代表研究者 氏名・所属	研 究 主 題	援助金額 (万円)
推 薦 研 究	九州大学 川 崎 恭 治	複雑液体の動力学	400
	北海道大学 木 下 修 一	光パルスを用いたフォノンの選択励起と 相転移ダイナミクスの研究	300
	大阪大学 下 西 康 嗣	グアニル酸シクラーゼ活性化の分子機構	350
	名古屋大学 関 一 彦	電子分光法による有機界面の分子配向お よび電子機構の研究	400
	東京大学 清 水 孝 雄	PAF の生理作用の総合的研究	350

合 計 5件 1,800万円
総 計 17件 5,760万円

短期間派遣（1992年度 56件）

被 派 遣 者	目 的	渡 航 先	実施年月
京都大学 麻 生 武 彦	光学的手法による大気研究に関する第19回欧 州年次会合	スウェーデン	'92/ 8
東京大学 犬 塚 修一郎	星形成過程の理論的研究に関する国際的研究 会	ア メ リ カ	'92/ 8
東北大学 田 中 通 義	米国電子顕微鏡学会第50回記念大会	ア メ リ カ	'92/ 8
慶応義塾大学 米 沢 富美子	「強結合プラズマ物理学」に関する国際会議 他	ア メ リ カ	'92/ 8
大阪大学 大 山 忠 司	ミリ波と遠赤外光の技術と応用に関する国際 会議	中 国	'92/ 8
名古屋大学 鷺 見 治 一	世界宇宙会議－宇宙空間研究委員会シンポジ ウム「太陽圏外圏の観測」	ア メ リ カ	'92/ 8
京都大学 長谷川 博 一	高分子物理学に関するゴードン研究会議	ア メ リ カ	'92/ 8
東京大学 井 上 康 男	ポリシアル酸に関する国際シンポジウム他	ス イ ス	'92/ 8

被派遣者	目 的	渡 航 先	実施年月
東京大学 入 村 達 郎	腫瘍ムチンに関する第2回国際ワークショップ	イ ギ リ ス	'92/ 8
広島大学 木 村 栄 一	第17回大環状化合物化学国際シンポジウム	ア メ リ カ	'92/ 8
立教大学 松 浦 辰 男	核化学・放射化学・放射線化学に関する第9回国際シンポジウム	メ キ シ コ	'92/ 8
分子科学研究所 北 川 宏	合成金属の科学と技術に関する国際会議	ス ウ ェ ー デ ン	'92/ 8
東京工業大学 鈴 木 和 也	合成金属の科学と技術に関する国際会議	ス ウ ェ ー デ ン	'92/ 8
東京大学 田 隅 三 生	第21回ヨーロッパ分子分光学会議	オ ー ス ト リ ア	'92/ 8
北海道大学 矢 沢 道 生	第8回カルシウムシンポジウム	ス イ ス	'92/ 8
大阪市立大学 福 村 隆	第9回国際マイコプラズマ学会	ア メ リ カ	'92/ 8
九州大学 平 田 雅 人	第8回セカンドメッセンジャーとリン酸化蛋白に関する国際会議	イ ギ リ ス	'92/ 8
金沢大学 高 橋 守 信	第8回国際免疫学会	ハ ン ガ リ ー	'92/ 8
大阪市立大学 保 尊 隆 享	第6回国際細胞壁会議	オ ラ ン ダ	'92/ 8
東京大学 金 川 久 一	ペンローズ会議・歪解析の応用（微細構造から造山帯まで）	カ ナ ダ	'92/ 9
東京工業大学 大 槻 圭 史	微惑星の運動学に関する研究会議	ア メ リ カ	'92/ 9
理化学研究所 寺 澤 信 雄	「観測的宇宙論」国際シンポジウム	イ タ リ ア	'92/ 9
慶応義塾大学 鈴 木 孝 治	第3回英国リチウム会議	イ ギ リ ス	'92/ 9
姫路工業大学 斉 藤 肇	第1回食品科学における磁気共鳴国際会議	イ ギ リ ス	'92/ 9

被派遣者	目 的	渡 航 先	実施年月
姫路工業大学 阿 形 清 和	第10回国際眼研究会議	イ タ リ ア	'92/ 9
東北大学 磯 野 邦 夫	第2回ドイツ(旧)ソビエト両国シンポジウム「節足動物の感覚機構と情報伝達」	ド イ ツ	'92/ 9
東京大学 佐々木 晶	第2回国際惑星学会議(アメリカ天文学会惑星科学分科会第24回学会)	ド イ ツ	'92/10
早稲田大学 大 島 忠 平	超高真空計測に関するワークショップ他	イ ギ リ ス	'92/10
東京大学 高 橋 敏 男	第12回国際真空会議及び第8回固体表面国際会議	オ ラ ン ダ	'92/10
東京大学 福 谷 克 之	第12回国際真空会議及び第8回固体表面国際会議	オ ラ ン ダ	'92/10
東京大学 梅 澤 喜 夫	第2回生物電気化学分析シンポジウム	ハ ン ガ リ ー	'92/10
京都大学 江 崎 信 芳	バイオプロセス展開に関する第3回スイス-日本合同会議	ス イ ス	'92/10
帝塚山短期大学 増 田 芳 雄	植物成長調節物質シンポジウム	ド イ ツ	'92/10
神戸大学 磯 野 克 己	翻訳機構に関する国際会議	ド イ ツ	'92/10
東京大学 山 崎 泰 規	表面物理に関する第7回ラテン・アメリカシンポジウム	アルゼンチン	'92/11
東京大学 牧 野 淳一郎	スーパーコンピューティング'92 他	ア メ リ カ	'92/11
東京大学 岩 澤 康 裕	北大西洋条約機構(NATO)先端研究ワークショップ	フ ラ ン ス	'92/11
姫路工業大学 木 村 啓 作	ゴールドンコンファレンス	ア メ リ カ	'92/11
東京工業大学 梶 川 浩太郎	第2回オーストラリア/日本セミナー「コロイド科学における自己集合体」	オーストラリア	'92/12
国立天文台 佐 藤 修 二	興隆赤外線望遠鏡を用いた日中協同による星間物質の研究	中 国	'92/12

被派遣者	目的	渡航先	実施年月
佐賀大学 田 端 正 明	第3回ユーラシア化学会議	タ イ	'92/12
秋田県立農業短期大学 鈴 木 信 弘	第4回国際2本鎖RNAウイルスシンポジウム 他	ア メ リ カ	'92/12
東京工業大学 岸 本 健 雄	真核細胞の細胞周期制御に関する第3回ジャック・モノー会議	フ ラ ン ス	'92/12
東京大学 小 林 牧 人	魚類の GnRH 産生に及ぼすステロイドホルモンの影響	香 港	'92/12
東北大学 吉 田 博	第6回凝縮系計算物理学国際ワークショップ	イ タ リ ア	'93/ 1
東京工業大学 岡 真	「物理学の美しさ」会議	ア メ リ カ	'93/ 1
東京工業大学 石 黒 慎 一	溶液と生体系の熱力学に関する国際会議	イ ン ド	'93/ 1
京都大学 橋 本 竹 治	ポリマーに関するゴードン研究会議（西）	ア メ リ カ	'93/ 1
自治医科大学 川 上 潔	キーストーンシンポジウム「転写：転写因子、制御及び分化」	ア メ リ カ	'93/ 1
京都大学 稲 垣 省 五	「恒星系力学におけるエルゴード概念」ワークショップ	ス イ ス	'93/ 3
京都大学 嶺 重 慎	「降着円盤の理論2」国際会議 他	ド イ ツ	'93/ 3
東京大学 清 水 明	「量子光エレクトロニクス」国際会議	ア メ リ カ	'93/ 3
中央大学 松 下 貢	バクテリアの相互作用を伴う多細胞的振舞いに関する会議	ア メ リ カ	'93/ 3
北海道大学 森 美和子	アメリカ化学会：Ti, Zr, Hf などの有機金属錯体の最近の進歩	ア メ リ カ	'93/ 3
大阪大学 森 島 洋太郎	アメリカ化学会全国全分野会議：高分子電解質に関するシンポジウム	ア メ リ カ	'93/ 3
京都大学 藤 本 豊 士	日米合同解剖学会議	ア メ リ カ	'93/ 3

+++++ 事 務 報 告 +++++

事 業 日 誌

1992. 4. 1 選考委員改選（ニュース通巻第32号P.7 参照）
5. 5～ 8 山田コンファレンスXXXII開催（於 大阪）
4. 17 監査法人トーマツ会計監査
4. 24 選考打合会
5. 22 選考打合会
5. 30 研究交歓会（於 薬業年金会館）
5. 31 1992年度第1回理事会・評議員会・選考委員会：1991年度事業報告、収支決算報告、
1992年度事業現況報告及び審判制決定、1993年度山田コンファレンス援助決定、
1992年度研究援助審判の件（於 大阪コクサイホテル）
6. 12 資産の総額変更の法務局登記手続
6. 20 長期間派遣者研究交歓会（於 薬業年金会館）
6. 26 選考打合会
7. 18 第2回選考委員会：1992年度研究援助の答申案作成
第1回臨時理事会：同上答申案の審議（於 薬業年金会館）
7. 20 報道関係へ1992年度研究援助概説伝達
7. 31 選考打合会
8. 2～ 7 山田コンファレンスXXXIII開催（於 千葉県／富浦）
- 8.17～21 山田コンファレンスXXXIV開催（於 豊中市）
8. 28 選考打合会
10. 23 選考打合会
11. 3 赤堀四郎顧問（初代理事長）ご逝去
11. 25 選考打合会
11. 30 1993年度来日援助・長期間派遣援助申込締切
12. 18 選考打合会
12. 22 第15回事業報告書完成発信

山田コンファレンスニュース

Yamada Conference XXXII, XXXIII, XXXIV の開催

回		XXXII	XXXIII
会 名		Plant Cell Walls as Biopolymers with Physiological Functions 植物細胞壁－生理機能を持つ生体高分子	Application of High Magnetic Fields in Semiconductor Physics 強磁場の半導体物理学への応用
会 期		'92. 5. 5 ~ 8	'92. 8. 2 ~ 7
主 催 責 任 者		増田 芳雄（帝塚山短期大学）	三浦 登（東京大学）
参 会 者	日本人	84	66
	外国人	21	46
	合 計	105	112

+++++ 長期間派遣援助による在外研究者一覧表 +++++

（1993年1月現在）

援助 年度	氏 名	渡航直前 又は現在の 所 属	渡 航 先 研究機関名 住 所	予定在留期間
1990	廣 井 孝 弘 Takahiro Hiroi	東京大学 理 学 部	SN3, NASA/JSC Houston, TX 77058 U.S.A	'90. 5. 5 ~'93. 7. 22
1991	伊 藤 敬 Kei Ito	東京大学 理 学 部 大 学 院	Abteilung Zellbiologie, Institut für Genetik Universität Mainz Saarstraße 21, D-6500 Mainz Germany	'91. 5. 7 ~'93. 4.
1991	道 下 眞 弘 Masahiro Michishita	京都大学 医 学 部 大 学 院	Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School 149 13th Street, 8th Floor Charlestown, MA 02129 U.S.A.	'91. 7. 4 ~'93. 3. 26
1991	高 井 俊 行 Toshiyuki Takai	岡山大学 工 学 部	Memorial Sloan-Kettering Cancer Center 1275 York Avenue, New, York, NY 10021 U.S.A.	'92. 1. 16 ~'93. 1. 15

XXXIV	XXXV
Hyperfine Interactions 超微細構造相互作用	High Energy spin Physics 高エネルギースピンの物理
'92. 8. 17 ~ 21	'92. 11. 9 ~ 14
南園 忠則 (大阪大学)	政池 明 (京都大学)
81	121
94	121
175	242

+++++

渡 航 先 研究指導者	研 究 主 題	渡 航 先 住 所
Prof. Carle M. Pieters	反射スペクトルデータを用いて Hapke の理論と私のモデルを比較する	140 Surf Court, #23 Houston, TX 77058 U.S.A
Prof. G. M. Technau	単一細胞移植法を用いたショウジョウバエ中枢神経系発生解析	Mainstraße 39, Appartment Nr. 29 D-6500 Mainz, Germany
Prof. M. A. Arnaout	白血球細胞外マトリックス受容体のシグナル伝達機構	89 Chester Rd. 1st Floor Belmont, MA 02178 U.S.A
Prof. Jeffrey V. Ravetch	マウス Fc γ R III γ サブユニットの遺伝子ターゲティングによる機能解析	303 E 71st St., Apt. 1-G New York, N.Y. 10021 U.S.A

援助 年度	氏 名	渡航直前 又は現在の 所 属	渡 航 先 研究機関名 住 所	予定在留期間
1992	内 田 希 Nozomu Uchida	長岡技術 科学大学 化 学 系	Advanced Materials Research Center, University of Florida One Progress Blvd., #14 Alachua, FL 32615 U.S.A	'92. 4. 1 ～'93. 3. 31
1992	佐 藤 毅 彦 Takehiko Satoh	東京理科 大 学 大 学 院	Institute for Astronomy, University of Hawaii 2680 Woodlawn Drive Honolulu, HI 96822 U.S.A	'92. 4. 7 ～'93. 4. 6
1992	米 田 明 Akira Yoneda	名 古 屋 大 学 理 学 部	Cooperative Institute for Research in Environmental Sciences, University of Colorado at Boulder, Campus Box 216, Boulder CO 80309-0216 U.S.A	'92. 4. 20 ～'94. 3. 31
1992	中 川 義 次 Yoshitsugu Nakagawa	東京大学 理 学 部	Institute for Theoretical Physics University of California Santa Barbara, CA 93106-4030 U.S.A	'92. 8. 1 ～'93. 1. 31
1992	高 木 新 Shin Takagi	名 古 屋 大 学 理 学 部	Department of Biology, McGill University 1205 Docteur Penfield Avenue, Montreal, PQ, H3A 1B1, Canada	'92. 10. 5 ～'93. 9. 30
1992	播 磨 尚 朝 Hisatomo Harima	大阪府立 大 学 総 合 科 学 部	H. H. Wills Physics Laboratory University of Bristol Royal Fort, Tyndall Avenue, Bristol, BS8 1TL, U.K.	'92. 10. 28 ～'93. 9. 29
1992	中 尾 啓 子 Keiko Nakao	基 礎 生 物 学 研 究 所	Institut für Entwicklungsbiologie Universität zu Köln Gynrhofstraße 17, 5000 Köln 41 FRG	'92. 11. 1 ～'93. 4. 30
1992	菅 原 美 子 Yoshiko Sugawara	帝京大学 医 学 部	Centre nationale de la Recherche Scientifique, Alfred Fessard Institut 91198 Gif-sur-Yvette, CEDEX France	'92. 9. 1 ～'93. 8. 31

渡 航 先 研究指導者	研 究 主 題	渡 航 先 住 所
Prof. Larry L. Hench	◦ シリカガラスの応力腐食への量子化学的アプローチ ◦ バイオガラスのメカノケミカル反応の解析	Piccadilly Apartment #269 2220 S.W. 34th Street Gainesville, FL 32608 U.S.A
Dr. R. Baron Dr. T. Owen	Study of Jupiter's atmosphere and outer planets	1525 Kewalo Street, #1302, Honolulu, HI 96822 U.S.A
Prof. Hartmut Spetzler	ガス圧ピストンシリンダー装置による高温・高圧下での鉱物の音速測定—地球内部構造の解明に向けて	2141 Baseline Road, Apartment #17, Boulder, CO 8302 U.S.A
Prof. Jack J. Lissauer	原始惑星系星雲の進化に関する理論的研究	311 Pacific Oaks Road Goleta, CA 93117 U.S.A
Prof. Siegfried Hekimi	線虫神経系形成機構の解析	Apartment No. 355 1375 Sherwood Crescent. Town of Mount-Royal, Montreal, Qc, H3R 3C8 Canada
Prof. Balazs L. Györfy	超伝導に対するバンド理論の適用	Garden Flat 14 Elliston Road Redland, Bristol, BS6 6QE U.K
Prof. Jose A. Campos-Ortega	ショウジョウバエ胚期中枢神経系形態形成を司る遺伝子群の解析	Niehler Kirchweg 188 5000 Köln 60 FRG
Prof. K. Grant Prof. T. Szabo	発電魚脳幹における感覚情報処理とシナプス可塑性	53 rue du Dr. Colle, 91198 Bures-sur-Yvette, France

Yamada Conference (1992 and forthcoming)

Yamada Conference	
No.	Name, Date
XXXII	Plant Cell Walls as Biopolymers with Physiological Functions, 1992
XXXIII	Application of High Magnetic Fields in Semiconductor Physics, 1992
XXXIV	Hyperfine Interactions, 1992
XXXV	High Energy Spin Physics, 1992
XXXVI	Fundamentals of Fracture, 1993
XXXVII	Evolution of the Universe and its Observational Quest, 1993
XXXVIII	The Noble Gas Geochemistry and Cosmochemistry, 1993

人 事 消 息

- 1992年 4 月 江崎玲於奈理事が IBM (米国) を退社、帰国、筑波大学学長に就任されました。
山田安定理事が東京大学物性研究所を定年ご退官、大阪大学名誉教授の称号をお受けになりました。
- 伊勢典夫選考委員が京都大学工学部を定年ご退官、京都大学名誉教授の称号をお受けになり、レンゴー(悌)理事に就任されました。
- 村田一郎選考委員が大阪大学理学部を定年ご退官、大阪大学名誉教授の称号をお受けになり、福井工業大学応用化学学科教授に就任されました。
- 11月 西塚泰美評議員が第 8 回京都賞を受賞されました。
朽津耕三評議員が紫綬褒章を受章されました。

財団法人 山田科学振興財団

〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号

電話 大阪(06)757局3311(代表)

Yamada Science Foundation

8-1 Tatsumi Nishi 1-chome, Ikuno-ku

Osaka 544, Japan